

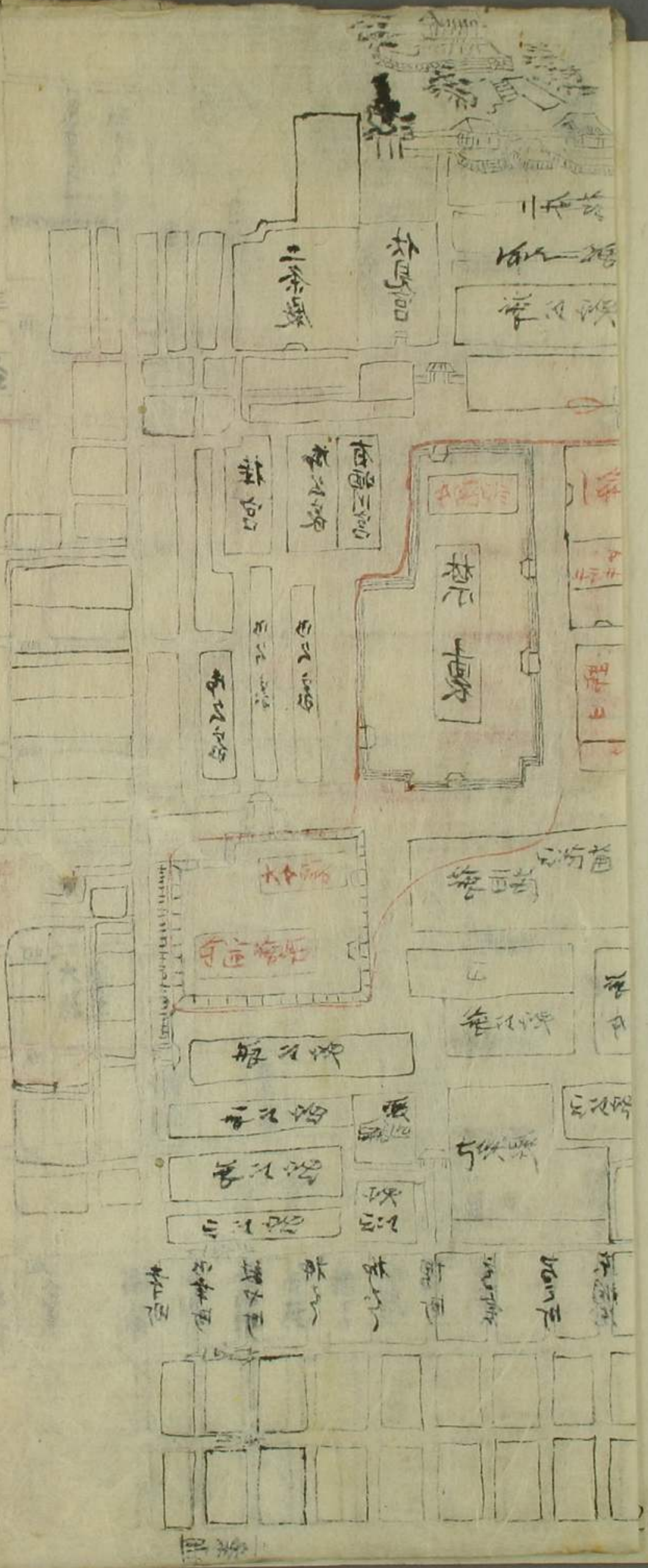


嘉永七年甲寅四月
肉衷突上 陵失之所名及地圖

71
4222



門 71
號 4222
巷



天に三災有者時節は定あつて
その時ふれと竟帝文成の御代
とそを免く事か
を平安の都と云神お徳の地にて
百代石折の帝基なり山川は秀麗
人物の温和地の乃り所とて
況や此の政令をなする事

未だく又風十雨此時一應
百民を平の化小治一高月を
果ひく樂しとおる幼き貴と
たぐ賤とく恒の産を守りし
化のまぐ香撫恭來の理を命
とらるるも時多るかれ七年
古事甲寅四月内裏をうへ
中綱

果世丸日記少もいまこ
と痛ふる災害たあたる地
も

五月十六日午上刻

後院清新芝浦殿清綱戸
出火をくたれ物も度色
の如せ
刻に上乃御新内侍新
松屋

紫宸殿小御所云御間清涼殿
にやらの御ありにこも員をや
こまも愛たありこれに御云
音に月宮ありやとたは
たまもこそとたよりりの
これとたありをうた
三種の神宝を御間清涼殿

御美殿の云御所清涼殿
下鴨の御所とありを
佐々木とあり有る人
もくも難くもあり清涼殿
先く漸牛の御所鴨の御所
御所あり幸宮清涼殿
ありくありあり清涼殿

江戸に出るをゆるぎなくおぼへて
このとくは連巻は有まじり寺町氏
方山つら鴨川の面影たる九条路
の清け家、物りなふとくもわづら
おれとこのよのくまおれとまてを
漢殿へもてせほひく清きり
錦繡とてくろをせりくる御局の女房

連巻のりまはよく網の中と遊
のひらふくくくくくくくくくく
月もあまきぬまはらりあはく
守備のりまはよく網の中と遊
おもしろくおもしろくおもしろく
唐よりあまのりまはよく網の中と遊
御代細の山面仕了御代より清き

後河原殿は目之御門建主門前
日能門月華門神前殿云御門
之御殿合令の一宮も亦くは焼
く況ふ准原御殿も亦くは焼
くれを魏、たる鳳凰門の焼去
は是れもたなき事ありしに
敷方此人も亦くは焼去
也

迎清殿御門前の空地に此
物也、其の丈あり日野殿細修
馬丸殿は河原の御門に
今川殿御門春屋殿薬洗一
火より御門を焼く事あり
其の御門も亦くは焼去
也、其の御門も亦くは焼
去也、其の御門も亦くは

のくい准原清殿より運いたやう
物ともありや二條殿より前と物運
り事な原のちりぬくを原後より
薩州候をさうし人東本誓きさる
河あつのはたふりてぬの大浦も
室をさる途と防さぬよりさる
かき懸くる色よそをさるくかき

るの折家方清華方河華族方河
のの浦えぬ中浦いり色もは原地
集る風いさあきく列くくさあきよ
吹くるる福よ白んりりる程大駕
舟也中之常入ル碇磯後河殿のく
船よりくくえくりりりるも河小橋
らくく又より河くの大馬くく

焼野火の火消の面々命を失ふ
防火ともやむをいふ敵の如く風不
法言を散ましの警時よりよや火災
くとならして東と消いぬ小燃より
水と消けたるもより焼来る徳を
清麻布の三光東を及梅津原
山中及防火火焼と成ぬ下の上長
若所より所そ中井家の火消りと
派不防之止人ふやのし中録
川端の松の家を及いあやかくも
あまより上乃やの武者と路と
島山町も復と焼り下の中長
若所と焼く上長若所定所本也
水戸殿の危をいし指乃と焼失く

大なる守をこもも入るりたるも
風はふりくゆ流り余程所の隔り
一處も板ふこのお板もいり
定りりぬよ燃る様い実に大災
の河にゆるまくと流るる其の
寺は流るる櫓城の事も集り
とやのよとく音もたに言ふ

大なると燃るるも余も余の介
かても入るる城の定城も福業
長つ守度因伏水や行田藤
を度や度是等の所のゆも遠く
もつるれい津信のんといひ
を騎並ふて地はうりやふり
那山持舟う撒めは島山國

江戶膳所を主の諸修方は、
の如く在府の清大い代の法入氣
とて馳せ来る者櫛の齒と云ふ如
寺の山門の元彼も其外臨み此
僧侶を因縁をたると云々く香
物鐘をた〜人数と集め法衣
のふふたは〜をくを神を〜

此如急竹落の如くを推教を信
て馳せ来る者下別と云々
自ら三種神をとも下鴨の法徒あり
所傳流文梅りより供奉の法方
よ六月郷より客百月百官其外
地下此官人元清武家〜を対
乃清所見代招坂法守後西

市河まの淺野中勢より捕取東宮
町奉行長幼浦後守殿 林忠孝浦
武家長者犯前守殿を身儲に
するを治河新と誓河能の旨詰
ありより浦後守方の要回を運院
の文と無殿とすくく大に意
甚んしとて甲より別におし
た

かゝる種りうくさく依り中系
の人のと昔勢の好いおれと
火の種まねるまも女よりたれ
いこもあしうくくく一は別
これい種りうもやん様も雲
れ言焼廣るはしよいも別風
より中系とあれた中系をいよ

一河の所懸るる泡こもくろくこ
志と香秘苑の品を印形対古紙紙
仕舞天のたせりりらるよ二千余
年の性者より伝へたたる其は同
意を也と云んと云よ易よこも
印りりりり新入るる大智強よ
うんたれいんを一夫不満く

雲を焦く北の色加養とて枝松を修
習する峯其外迎をいはたにやうそ
行のいさむしんをいれを大津
うんをうしめをいり地をるん
ふあく一の子使り松とて何の海
も群集してさふくく白雲の如く
なよん庭庭町色武者も海も晴の

社はり是は六年系社の時迄年
なりしそ中よの末はしこに可焼
今乃清徳行りしりく申度なる所
敵舎と云ふ藤より修理なりて貴
賤徳と云ふ藤ありしこのふに引
うへふ六烟の中とありしこ一の
華表より辨がし中り辨るるる

実よある物表のしき申ありしり
一糸海門より都よりふにひ一條状
橋も焼断く今前川室河物解
中三層大室町より松浦なる中長老前
色小川仙臺清なる其外奥平
柳門毛利清原なる長山田の事

松浪津屋を及ぶ早服後着は焼
夫とそ風の途やうくよふのふら
空りそ世阿弥のふす糸をふり
より大踏歩の家々焼落着を坤
神り言持出しある家財を踏
くださ押留し或る款りこくれ
るとうのひなをさこめるなる

さねうら改のふくめくよそ是兒
あふ偽物い書りくる養生要集乃門
響集熱の地獄もかくとていせれ
はる猶しも東の音より西陣取れ
の音こく種火の敷限もたなく苑散
はふふ屋屋所一糸下ん福人の種
社符もいへん燃ゆる堀川屋を門

ふ村をくしつ新も改は危くつく
たのたれとも何の所もくもつてや
いづも母を海にくくる知意は流也
一乗と知意を院を南の方より堀
邊人家よりく焼来るといふも今
口をあらして防とめられおを
種揚坊令綱の中にいふまに新

よなり風をあらく徳よなりは
御新田の史を徳家の人と新ふ
志やうく下史とをたしめれ
東六新町西院院の口よりちりふ
表乃の海福を世のよきり海く
やとえ世を新る海より南をト立る
根木河の口より九町八九町の間に

乃猶大とたるるべしとよ東のしめは
六の宮の造作に猶大とす
庭前のもの如くもなるも東の
りのりも教のりりる其中に
是の母を授けりし所を例名
福井とす
まの廣くしては

猶大とたるるべしとよ東のしめは
のりりも教のりりる其中に
を其の外に中井のりり
のりりも教のりりる其中に
のりりも教のりりる其中に
のりりも教のりりる其中に
のりりも教のりりる其中に
のりりも教のりりる其中に
のりりも教のりりる其中に

宣の別より諸言のたぬふり
ありやの別よりぬきつて
おん成りよりぬきつて
たふ人の別よりぬきつて
為縁をとりぬきつて
を信して焼成りぬきつて
んと其の別よりぬきつて

き大の入りてぬきつて
烟をぬきつて
ちりぬきつて
とぬきつて
ぬきつて
物成りぬきつて
風ふきぬきつて

あるも、あつてくちをくつたはたふ
家あつたはたふあつてあつたはたふ
あつてあつたはたふあつてあつたはたふ
あつてあつたはたふあつてあつたはたふ
あつてあつたはたふあつてあつたはたふ
あつてあつたはたふあつてあつたはたふ

あつてあつたはたふあつてあつたはたふ
あつてあつたはたふあつてあつたはたふ
あつてあつたはたふあつてあつたはたふ
あつてあつたはたふあつてあつたはたふ
あつてあつたはたふあつてあつたはたふ
あつてあつたはたふあつてあつたはたふ

あつてあつたはたふあつてあつたはたふ
あつてあつたはたふあつてあつたはたふ
あつてあつたはたふあつてあつたはたふ
あつてあつたはたふあつてあつたはたふ
あつてあつたはたふあつてあつたはたふ
あつてあつたはたふあつてあつたはたふ

燒火所たる所

馬丸通 之へ武者小路左所より之へ

上長巻所 下之右所名 臨川之條所

武者小路 親吉所 鎌倉丸所 中之實

臨川所 臨川端所

室町通 之へ武者小路中行橋所子

北側より六出水通 之へ 右所名

北小路室町 武者小路 福長所 之へ

小橋町 鎌倉一條所 中之實 花立所

清和院所 中之實 近清院所

本町 室町所 中之實 昌山所 中之實

中之子所 武者小路 一條所 中之實

夜柳通 下長巻所より出水 中之實

清長所

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

新町通 今川丸出町出町 伴

糸川町 針尾町 伴高平之権持也 細尾町

或者山路也 草野町 一里也 小川町 中三平也

下小川町 一里也 梅造町 一里也

茶屋町 出水也 勘定町

仲小路通 上六之権持也 下之権持也

之権持也 仲小路町 或之権持也 草野町

一里也 之白の橋町 一里也 梅造町 中三平也

甲斐町 一里也 坂屋町 一里也

大石町 一里也 近清町

仲小路 堀門のりふ屋敷町

一里也 松平町 中三平也 甲斐屋敷

東堀川通 六之権持也 下之権持也

伴高平之権持也 富田町 伴高平也

白針尾町 中三平也 之町 一里也

成可月 しんかづき 三可月 さんかづき 心可月 しんかづき

併て東側 五可月 ごかづき 併て西側

西渡川通 にしわたり 六之松野通 むつしの 根木町 ねぎ

六之松野 七之松野 ななつしの 牛名町 うしな

八之松野 やっつしの 前月 まへづき 安尾町 やすお

後所通 ごしょ 六之松野通 むつしの 下六松野 しもむつしの

天明町 ていめい 福大の部町 ふくだのべ

徳所 とく 福大の部町 ふくだのべ

福大の部町 ふくだのべ 福大の部町 ふくだのべ

尾所 お 福大の部町 ふくだのべ

猪熊通 いぐま 六之松野通 むつしの 下六松野 しもむつしの

福大の部町 ふくだのべ 福大の部町 ふくだのべ 小寺町 こでら

猪熊通 いぐま 前月 まへづき 同可月 どうかづき

白夷町 しらくま 荒神町 あらし

石見守
石見守
石見守

足門通 六之段 石見守 六下之責

石見守 足門通 石見守 石見守

石見守 足門通 石見守 石見守

石見守 足門通 石見守 石見守

石見守 足門通 石見守 石見守

石見守 足門通 石見守 石見守

石見守 足門通 石見守 石見守

石見守 足門通 石見守 石見守

石見守 足門通 石見守 石見守

石見守 足門通 石見守 石見守

石見守 足門通 石見守 石見守

石見守 足門通 石見守 石見守

石見守 足門通 石見守 石見守

下鏡石河 トモナリ 神石河 トモナリ

清水町 トモナリ 石河 トモナリ 石河 トモナリ

トモナリ

日吉川 トモナリ 六二條下 トモナリ 六二條上 トモナリ

中上河 トモナリ 次清河 トモナリ

鳥井河 トモナリ 秤原河 トモナリ 天保河 トモナリ

トモナリ

智恵光院通 トモナリ 六二條下河 トモナリ 出木河 トモナリ

智恵光院前河 トモナリ 本丸河 トモナリ

山王河 トモナリ 下山河 トモナリ

三秤丸河 トモナリ

森乃川通 トモナリ 六二條下 トモナリ 長者河 トモナリ

今新在富河 トモナリ 石河院前河 トモナリ

石河 トモナリ 石河 トモナリ

淨福寺通

丁未見德應所

伴丁未例
丁未行

沙之百級橋八所

横所合

今出門通東六室所合西六新所

如入所

室所

堀世所

伴丁未例
丁未行

新所 舟支天所 舊在所 今出門見矣

室所之室所 堀所

伴丁未例
丁未行

之堀新寺通 東六新所合六新所

新所

之堀新寺通

武者小路通 東六舊所合西六門

舊所

東武者小路所

室所

中武者小路所

新所

西武者小路所

後屋所 丁未九中行下也 智惠光院之

淨福寺支
新井庄所

上長者所通 東鳥丸下 西福福寺

鳥丸入
久淨院所 鳥丸入
久淨院所

新河入
古河所 鳥丸入
有喜所 鳥丸入

揚本所 鳥丸入
松本所 鳥丸入
東福院所

日吉入
次濱東所 智恵寺院入
次濱所

左鳥丸入
高座院所 行鳥丸力
かきする

中長者所通 東室町 西仲山所

室町入
東長者所 新河入
中の所 仲山所

橋詰所

下長者所通 東鳥丸下 西家門

鳥丸入
新河所 鳥丸入
日西所 新河入

新河所 西河入
新河所 仲山所
新河入

松原入
新河所 吉原所入
東原所

智恵光院支

西度正所

喜の支

山中所

馬丸通下長者所丸中行方廻之所

迫清殿室後所

係

所

作し

出水通東室所より西智恵光院と

馬丸支

中野水所

作し

室所

西水所新所

下清田横所

智恵光院支

了子風呂所

仲

左清殿横所

支

東天祥所

支

西天祥所

支

金馬場所

下之賣通

東小門より西日言まで

智恵光院支

西大所

作し

所

中本橋所

作し

所

西橋所

猪

橋所

所

支
浮田所

以上七振所

足横所部合百九拾八所

片

片

